

平成 31 年度 情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	高等学校「新・見てわかる社会と情報」 (日本文教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- 情報社会に生きる私たちは、日々様々な機器やサービスを利用して、情報を取捨選択しています。社会と情報では、正しく情報機器を使いこなし、情報を効果的に伝え、情報社会について考え、情報社会の仕組みを知ることを目指します。
- 課題や目的に応じて情報手段を適切に活用する力
  - 必要な情報を自分自身で収集・判断・表現・処理・創造する力
  - 受け手のことも考えながら発信・伝達する力
- このような主体的な情報活用能力を身につけることは、今後情報社会を生き抜くための手がかりとなり、情報を賢く使いこなすまでの道しるべとなるでしょう。
- 実習を多く行ないます。コミュニケーションツールとしての情報機器を扱い、自分の考えを発表したり、レポートにまとめたりする活動を行ないます。
- 教科書の他、A4サイズの紙ファイルを学習プリントや自身の作品保管に使用します。

2 学習の到達目標

- 情報機器を適切に活用し、情報を収集、分析しながら問題を解決する力を身につける。
- 情報機器を活用したコミュニケーションや情報発信において、他者への配慮や責任をもつ態度を育てる。
- コンピュータのしくみを理解し、情報社会を支えるシステムに関心を持つ。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	情報化が社会に及ぼす影響や課題について感心をもち、情報社会の一員として主体的に参画していく態度を身につけている。	情報を活用しながら自分の考えや意見を表現するとともに、情報の受発信時には、情報モラル等の観点も含め、適切な判断ができる。	コミュニケーションや問題解決などの場面において、情報機器や情報通信ネットワークを効果的に活用する力を身につけている。	情報機器や情報通信ネットワークのしくみを理解するとともに、情報社会を生きるための基礎的な知識を習得している。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習状況の観察</li> <li>・ 小レポートを中心とした課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習状況の観察</li> <li>・ 小レポートを中心とした課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習状況の観察</li> <li>・ 小レポートを中心とした課題</li> <li>・ 実技テストの結果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習状況の観察</li> <li>・ 小レポートを中心とした課題</li> <li>・ 定期考査の結果</li> </ul>
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報社会に	○ 情報モラルを身につけよう	○			○	a:コンピュータやインターネットを日常的に利用する際に、情報モラルについて意識できる。 d:情報の信憑性を考えて意思表示をすることの大切さを理解する。	学習状況の観察 ワークシート 定期考査
1学期	コンピュータを使いこなそう	○ コンピュータを使ってみよう  ○ 文書を作成してみよう		○		○	a:様々な情報機器の特徴と役割について関心を持つことができる。 b:身の回りの情報機器を用途によって分類できる。 c:文書処理ソフトウェアを使用して、指定した形式の文書を作成できる。 d:ユーザ ID とパスワードの適切な管理方法とその理由が理解できる。	学習状況の観察 ワークシート レポート課題 実技テスト
1学期・2学期	情報を整理して伝えよう	○ 問題解決をしてみよう  ○ データを分析してみよう  ○ 情報をわかりやすく伝えよう				○	a:プレゼンテーションの準備・発表・評価・反省に積極的に参加できる。 b:データを表やグラフ、色の組み合わせを考えてわかりやすく表現できる。 c:表計算ソフトウェアやプレゼンテーションソフトウェアを用いてプレゼンテーションの資料を作成ができる。 d:情報を収集・整理する手段にはどのようなものがあるかを知り、それぞれの方法や特徴について理解ができる。	学習状況の観察 ワークシート レポート課題 プレゼンテーション課題 実技テスト 相互評価・自己評価
2学期	情報社会の課題について考えよう	○ 情報のセキュリティの確保  ○ 情報社会における法と個人の責任		○		○	a:個人情報の管理や知的財産権に関する法律について意識を高めた。 b:適切なアクセス権設定や許諾を得なくても著作物を使用できる場合の判断ができる。 d:個人認証のためのさまざまな技術や、知的財産権に関わる法律について理解できる。	学習状況の観察 ワークシート 定期考査
3学期	情報社会のしくみを知ろう	○ 情報ネットワークとコミュニケーション  ○ 情報通信ネットワークのしくみ	○	○		○	a:情報通信ネットワークを用いたさまざまなコミュニケーション手段を積極的に活用する態度を身につけることができたか b:ネットワークの特性を理解し、目的や場面、情報量などを判断し、適切なコミュニケーション手段を選択することができる。 d:ネットワークの仕組みを理解できる。	学習状況の観察 ワークシート 定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:思考・判断・表現  
c:技能      d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。